

2020年度第2四半期 決算説明資料

TOYO
東洋機械金属株式会社

2020年10月28日

証券コード
6210

目次

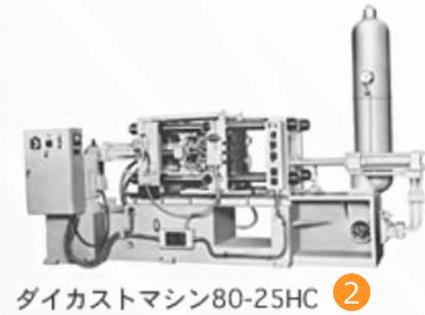
1. 会社概要	2
2. 2020年度 第2四半期の業績概要	5
3. 2020年度 通期の業績予想	11
4. SDGsへの貢献	20
5. <Appendix>	22

会社概要

会社概要

商号	東洋機械金属株式会社 TOYO MACHINERY & METAL CO.,LTD.
創業	1925（大正14）年5月16日
資本金	25億円（東証第一部）
代表者	代表取締役社長 田畑 禎章（Tabata Yoshiaki）
従業員数	773名（2020年9月連結）
営業品目	射出成形機・関連商品 ダイカストマシン及び周辺自動機・関連商品
本社・工場	兵庫県明石市二見町福里523-1
URL	http://www.toyo-mm.co.jp/

会社沿革



ダイカストマシン80-25HC ②



光ディスク ③



プラスター180DA ①

(株) 日立製作所のグループ会社となる (電動化技術)

1970

ダイカストマシン 生産開始

1963 ②

「東洋機械金属 (株)」に社名変更

1962

射出成形機 生産開始 (国産技術のみで開発)

1959 ①

1935

鋳鍛部品生産開始 (一貫生産の基礎)

1925

(株) 神戸製鋼所の紡機部門より分離独立し、
紡機製造 (株) として繊維機械を生産開始

株式会社日本製鋼所 及び
宇部興産機械株式会社と資本業務提携

2014

「省エネ小型低圧ダイカストシステム」*にて、
(財) 機械振興協会 第8回新機械振興賞・経済産業大臣賞を受賞
* (株) デンソー、(株) 宮本工業所との共同開発

2011

東洋機械 (常熟) 有限公司にて、
電動サーボ射出成形機 生産開始

2008

光ディスク成形機 生産開始 (ソニーと共同開発)

1998 ③

電動サーボ射出成形機 生産開始

1985

1925 1930 1935 1940 1945 1950 1955 1960 1965 1970 1975 1980 1985 1990 1995 2000 2005 2010 2015 2020

2020年度 第2四半期の業績概要

2020年度第2四半期 経営成績

中国のIT電子機器関連は堅調に推移したが、自動車および生活用品関連の需要が減速
受注高は20%減少、売上高は43%減少、利益はマイナスとなる

項目 (単位：百万円)	2019/2Q 実績	2020/2Q 実績	前年同期比 増減	前年同期比 増減率	2020/2Q 計画	計画比 増減
受注高	13,344	10,696	△2,648	△19.8%	12,150	△1,454
売上高	17,038	9,785	△7,253	△42.6%	11,150	△1,365
営業利益	1,093	△531	△1,624	—	△375	△156
営業利益率	6.4%	△5.4%	△11.8P	—	△3.4%	△2.0P
経常利益	1,091	△484	△1,575	—	△375	△109
親会社株主に帰 属する四半期純 利益	652	△439	△1,091	—	△480	41
1株当たり 四半期純利益	32.09円	△21.34円	△53.43円	—	△23.46円	2.12円
<参考> 為替レ- (USD)	108円	106円	△2円	—	105円	+1円

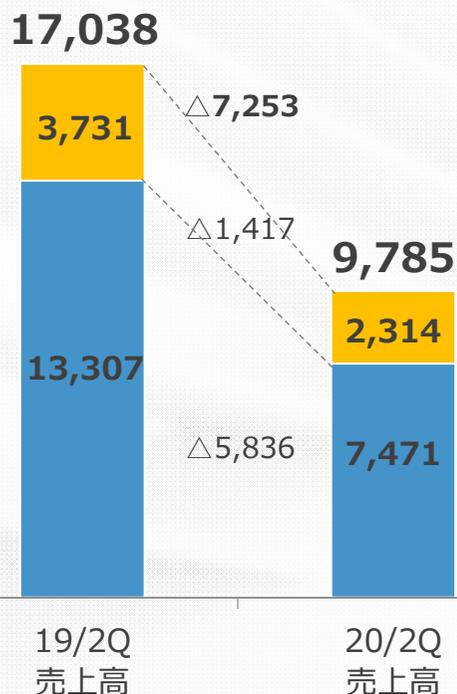
売上高・営業利益の増減要因分析

売上高は、射出成形機、ダイカストマシン共に減少
 営業利益は、売上・生産減少に伴う操業度の低下によりマイナスとなる

売上高

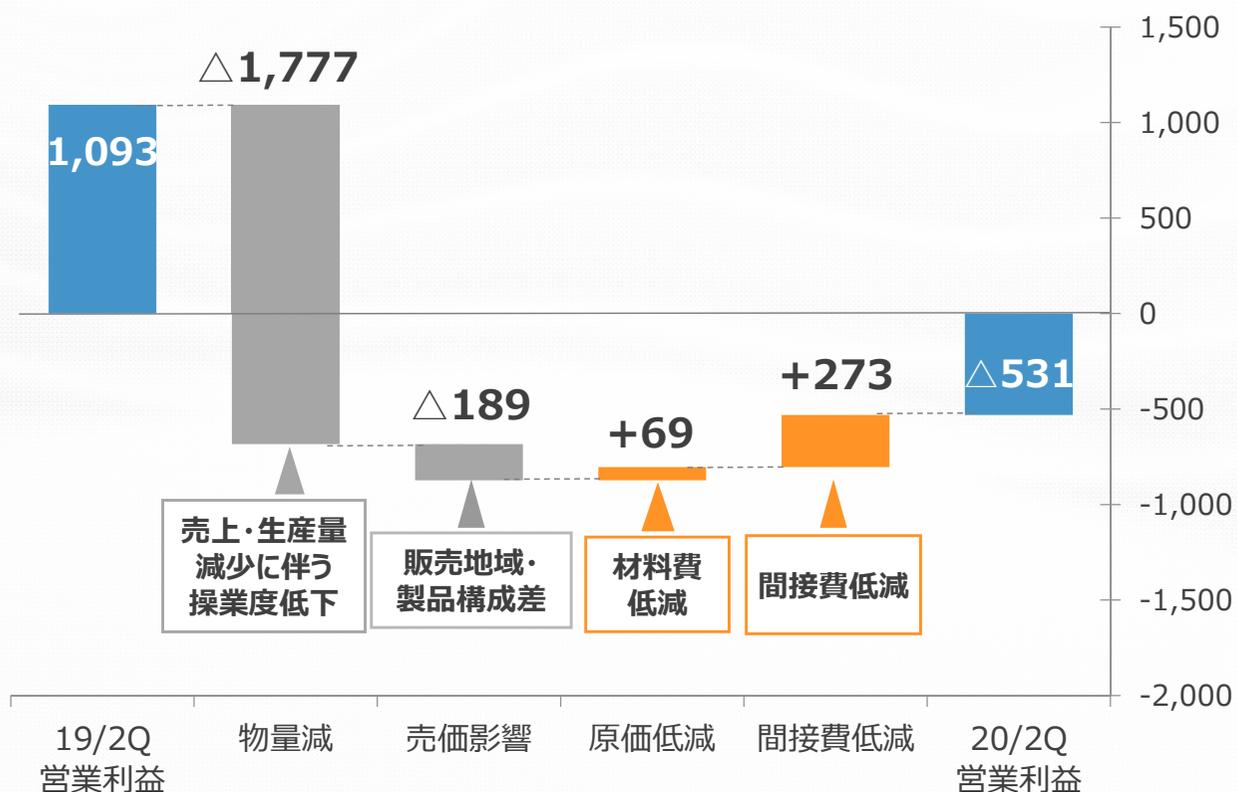
(単位：百万円)

- 射出成形機
- ダイカストマシン



営業利益増減要因分析

(単位：百万円)



製品別受注高・売上高・受注残高

受注高は107億円（前期比△26億円）、受注残高は65億円（前期比△11億円）

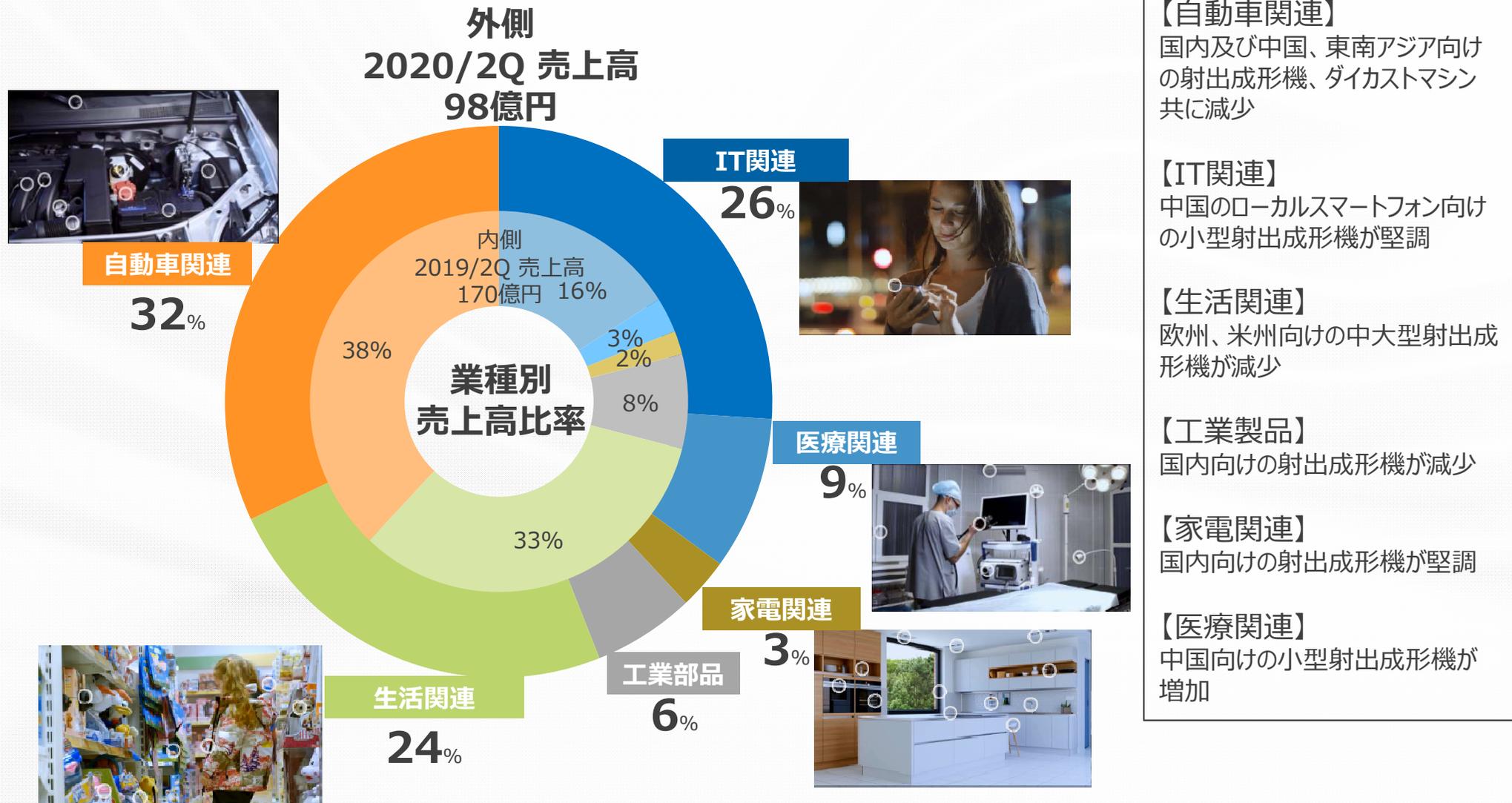
射出成形機 (単位:百万円)	2019/2Q 実績	構成比	2020/2Q 実績	構成比	増減	増減率
受注高	10,746	81%	8,595	80%	△2,151	△20.0%
(内、海外)	(6,934)	(65%)	(6,212)	(72%)	(△722)	△10.4%
売上高	13,307	78%	7,471	76%	△5,836	△43.9%
(内、海外)	(8,692)	(65%)	(5,281)	(71%)	(△3,411)	△39.2%
受注残高	5,873	78%	5,212	80%	△661	△11.3%

ダイカストマシン (単位:百万円)	2019/2Q 実績	構成比	2020/2Q 実績	構成比	増減	増減率
受注高	2,598	19%	2,101	20%	△497	△19.1%
(内、海外)	(1,203)	(46%)	(1,392)	(66%)	(+189)	+15.7%
売上高	3,731	22%	2,314	24%	△1,417	△38.0%
(内、海外)	(2,517)	(67%)	(1,511)	(65%)	(△1,006)	△40.0%
受注残高	1,660	22%	1,267	20%	△393	△23.7%

※構成比の欄は受注高、売上高、受注残高における射出成形機とダイカストマシンの構成比。それぞれの海外比率を括弧書き表記しています。

業種別売上高の動向

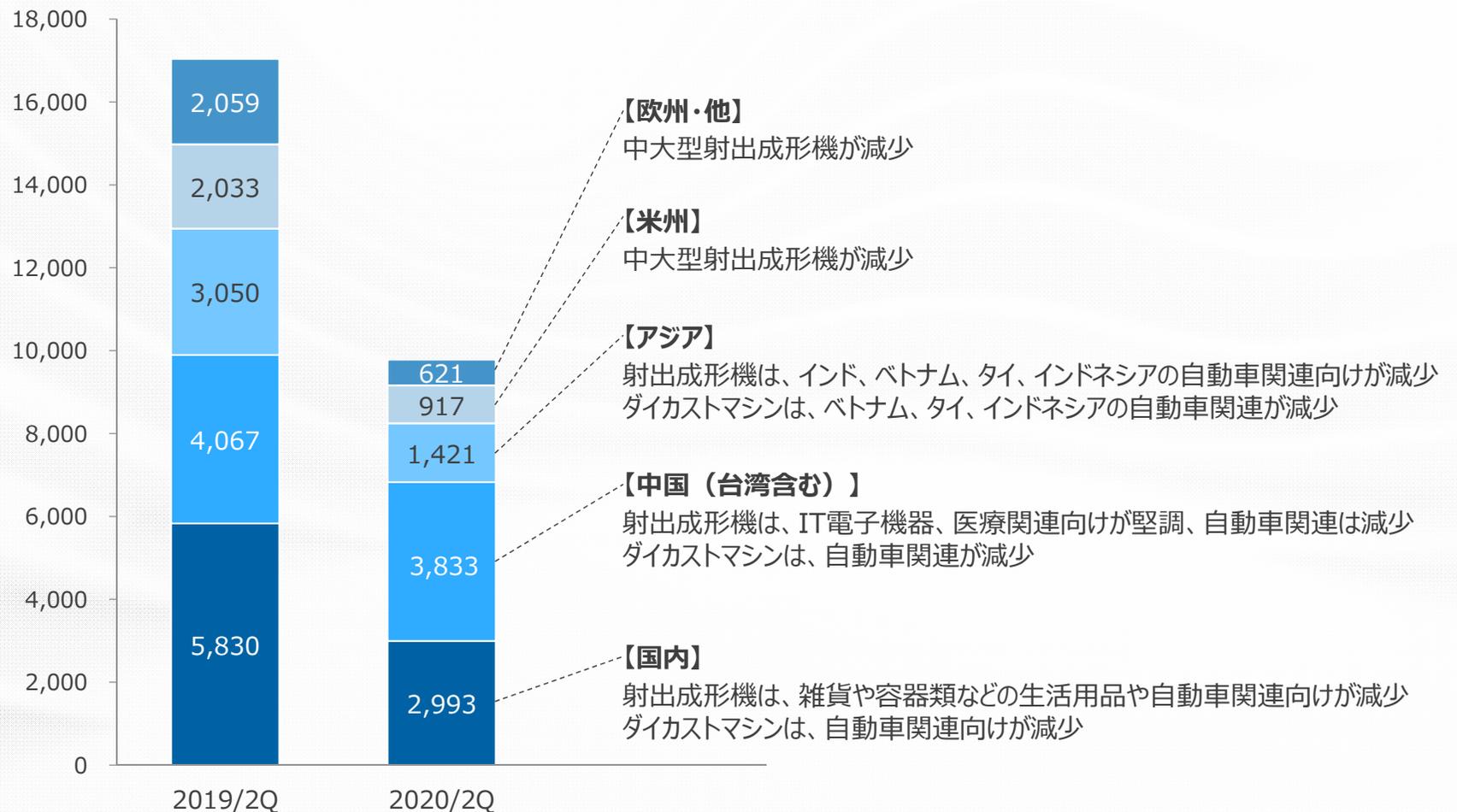
中国のIT電子機器、医療関連向けの小型射出成形機は堅調
IT関連向けの売上高構成比は26%に上昇



地域別売上高の動向

米中対立激化および新型コロナウイルスの影響により、全地域が減少

地域別売上高推移 (単位:百万円)



2020年度 通期の業績予想

2020年度 通期の業績予想

2020年度下半期も設備投資の需要は減少すると見込まれ、
営業利益は、売上物量減少及び生産操業度の低下により、マイナスとなる見込み

項目 (単位：百万円)	2019年度 実績	2020年度 前回予想	2020年度 今回予想	前期比 増減	前期比 増減率
受注高	24,794	25,300	24,500	△294	△1.2%
売上高	30,453	23,300	21,600	△8,853	△29.1%
営業利益	1,426	△370	△600	△2,026	—
営業利益率	4.7%	△1.6%	△2.8%	△7.5P	—
経常利益	1,438	△370	△560	△1,998	—
親会社株主に帰属 する当期純利益	883	△580	△500	△1,383	—
1株当たり 当期純利益	43.20円	△28.35円	△24.29円	△67.49円	—
<参考> 為替レート(USD)	109円	105円	105円	△4円	△3.7%

製品別 受注高・売上高・受注残高予想

受注高は245億円（前期比△3億円）、売上高は216億円（前期比△89億円）
受注残高は85億円（前期比+29億円）を予想

射出成形機 (単位:百万円)	2019年度 実績	構成比	2020年度 予想	構成比	増減	増減率
受注高	19,479	79%	19,800	81%	+321	+1.6%
(内、海外)	(13,184)	(68%)	(14,160)	(72%)	+976	+7.4%
売上高	23,824	78%	17,100	79%	△6,724	△28.2%
(内、海外)	(15,820)	(66%)	(12,100)	(71%)	△3,720	△23.5%
受注残高	4,088	73%	6,788	80%	+2,700	+66.0%

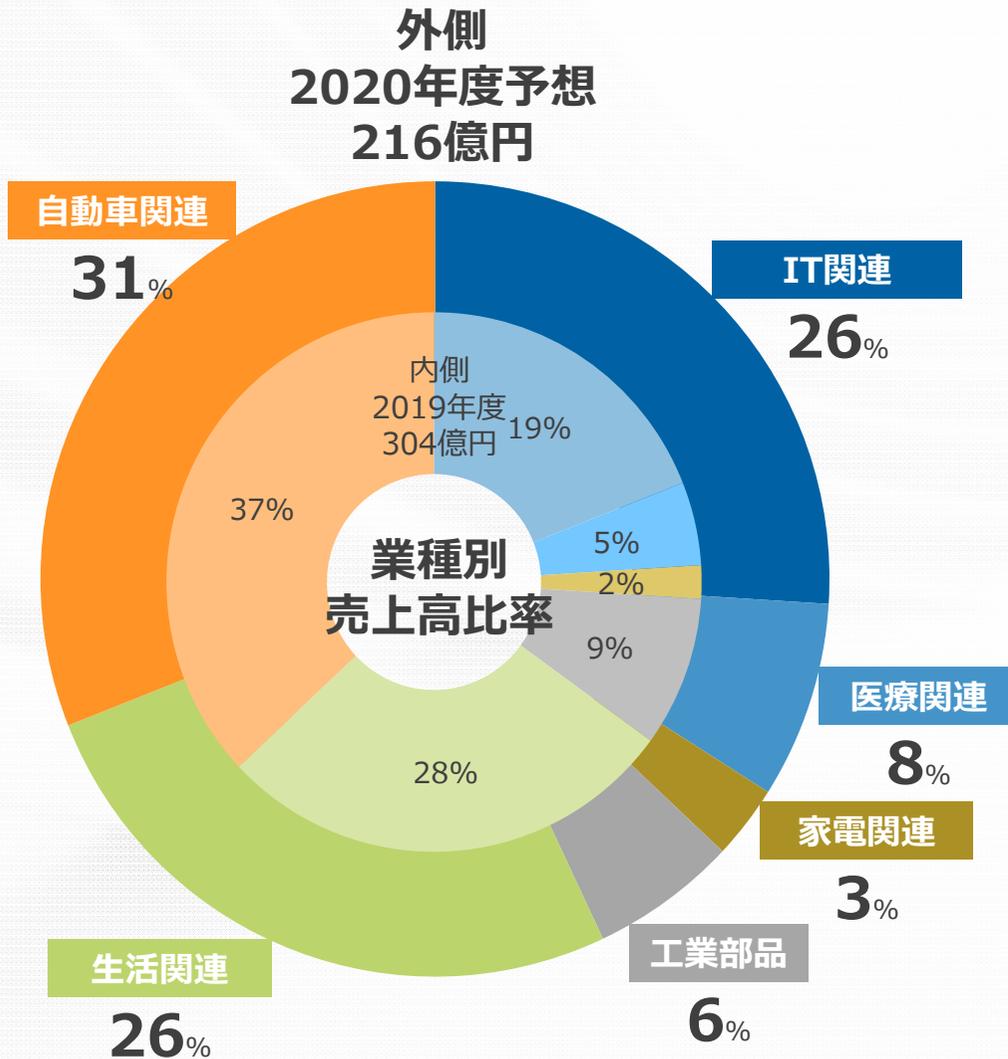
ダイカストマシン (単位:百万円)	2019年度 実績	構成比	2020年度 予想	構成比	増減	増減率
受注高	5,315	21%	4,700	19%	△615	△11.6%
(内、海外)	(2,773)	(52%)	(2,900)	(62%)	+127	+4.6%
売上高	6,629	22%	4,500	21%	△2,129	△32.1%
(内、海外)	(3,812)	(58%)	(2,700)	(60%)	△1,112	△29.2%
受注残高	1,479	27%	1,679	20%	+200	+13.5%

※構成比の欄は受注高、売上高、受注残高における射出成形機とダイカストマシンの構成比。それぞれの海外比率を括弧書き表記しています。

業種別・地域別 売上高予想

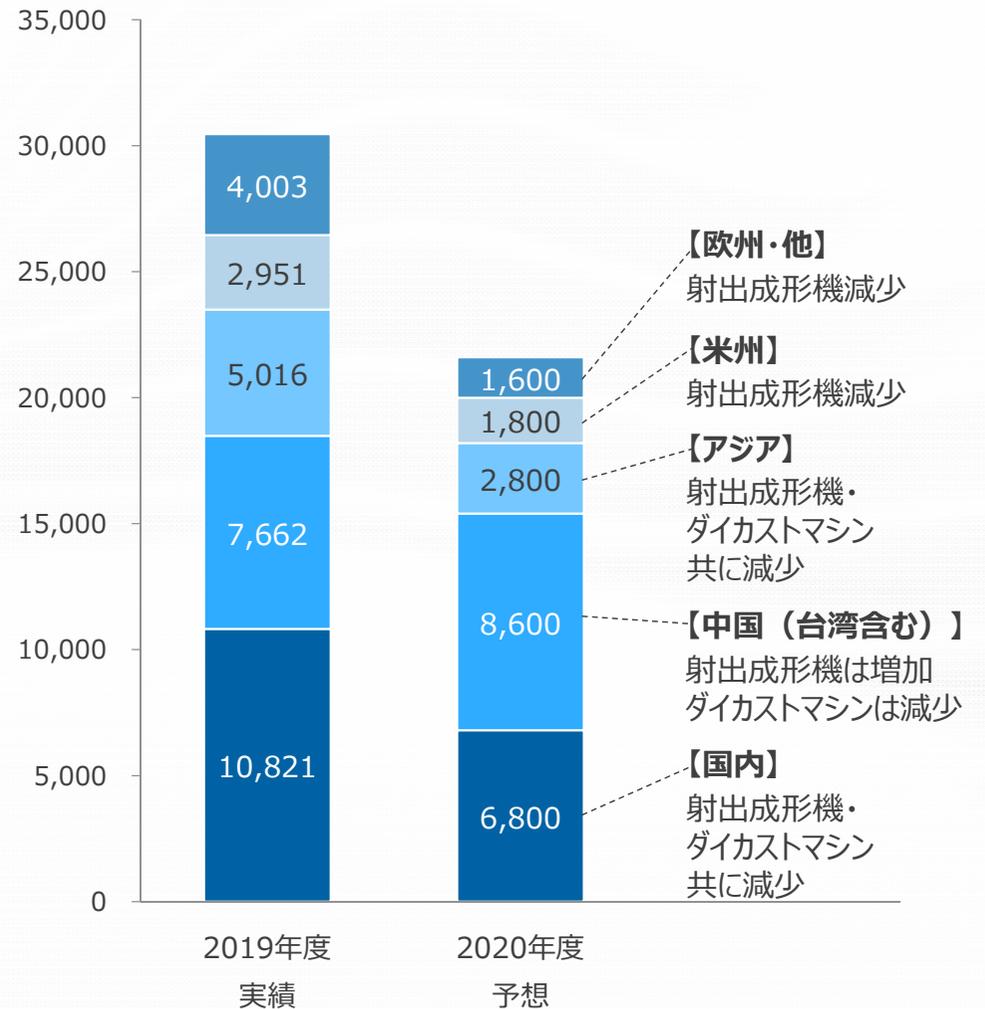
業種別ではIT関連、医療機器関連は堅調、地域別では中国が増加する見込み

業種別売上高構成予想



地域別売上高予想

(単位:百万円)



創業100年（2025年）に向けた企業像

VISION

顧客に役立つモノづくりを行い、
事業を通じて社会の進歩発展に貢献する

成形機専門メーカーとして
業界や地域社会に対して存在感を示し、
信頼・期待される企業を目指す

射出成形機

ダイカストマシン

Customer's Value Up

中期経営計画

「TOYO Great Global Plan 2020」

独自技術開発

持続的発展

グローバル戦略の発展と
構造改革



顧客価値創造型製品群の
市場投入

注力業界と製品分野の動向

グローバル成長エリア・市場に注力し、自社独自技術の対応を推進

ターゲット市場	顧客ニーズ	日本	中国	アジア	欧米	技術対応
情報端末 5G対応 通信インフラ	高精度・薄肉 5Gバックカバー対応 中継ボックス	○	◎	○		ハイレスポンス・射出圧縮
自動車 自動運転 EV化対応	EV化（二次電池、 センサー、カメラ等）	◎	◎	○	○	顧客ニーズに対応するカスタマイズ提案
	軽量化・薄肉化 （内装部品）	◎	◎	○	○	物理発泡成形
	環境・省エネ・ 生産性向上	◎	◎	○	◎	電動式ダイカストマシン
食品・医療	クリーンな製造現場	◎	○		◎	電動機によるダウンサイジング
その他市場	成形品生産の歩留 まり向上	◎	○	○	◎	SAG+α II ガス抑制スクリー
	IoT対応	◎	◎	◎	◎	T-Station Lite Ver.2、T-Remote

課題と施策

創業100年(2025年)に向けて、事業競争力の強化を推進し、強靱な経営基盤の確立を図る

課題

受注が減少している状況の中

生産量減少によるコスト高が懸念される

日本・明石工場

- ・需要は減少傾向
- ・生産に寄与する設備投資を優先し、継続的に実施
- ・M & A

中国・常熟工場

- ・中国での地産地消をベースに需要は拡大
- ・医療関連の需要は堅調
- ・I T 関連は5Gなど需要は好調

受注の確保、シェア拡大

営業力の強化

- ・WEBなどを活用した販社との連携で主要顧客への集中営業展開
- ・アジア新興国の営業力強化で新規需要開拓(自動車・生活用品)
- ・インド事務所を支店に格上、ベトナム現地法人事業開始(20/2)
- ・インドネシア現地法人設立 (21/3予定)

利益を確保

自社の強みを活かしながら、利益を確保

顧客ニーズに対応した開発型メーカー カスタマイズ対応型ビジネスでの利益創出

技術力の強化

- ・顧客との新規開発テーマの創出、大学との共同研究推進
- ・2021年度次世代機種デビューに向けた取り組み
射出成形機は、開発プロジェクトチームを発足し、開発中
ダイカストマシンは、新しい射出機構による新モデルを開発中

生産力の強化

- ・産業ロボット活用拡大で自動化・省人化・ロボット化を推進
- ・射出成形機大型機組立工場、大型機加工用マシニングセンター完成稼働による大型機種の増産体制確立
- ・部材の共通化
- ・機構部品の汎用化

2021年度から3ヶ年の「第3期 新・中期経営計画」策定進行中
重点施策は、「既存事業の成長 + 新規事業の創出」 21年3月完成予定

設備投資計画・減価償却費の推移

大型機に対応する本社工場の生産設備を拡張・整備

主な設備投資計画内容（18年度～21年度）

総投資額

建屋

25億円

中大型組立工場増設（1棟は20/7 完成）

自動倉庫新築(素材、制御、中大型組立)（19/5完成）

サービスセンター新築

その他現有資産維持投資

工作機械

12億円

自動加工 マシニングセンタ2台(1台は20/5完成)
ターニングセンタ

汎用加工 長尺NC旋盤（18/11完成）

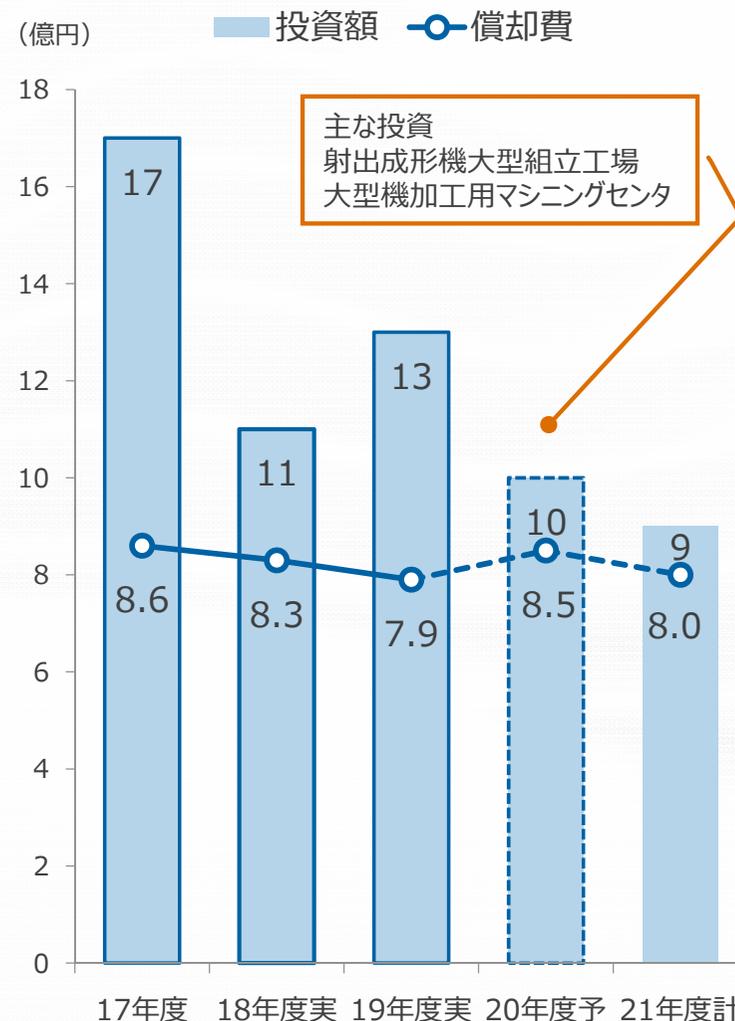
製缶 複合外パン加工機（19/2完成）

システム

3億円

主な設備投資計画総額

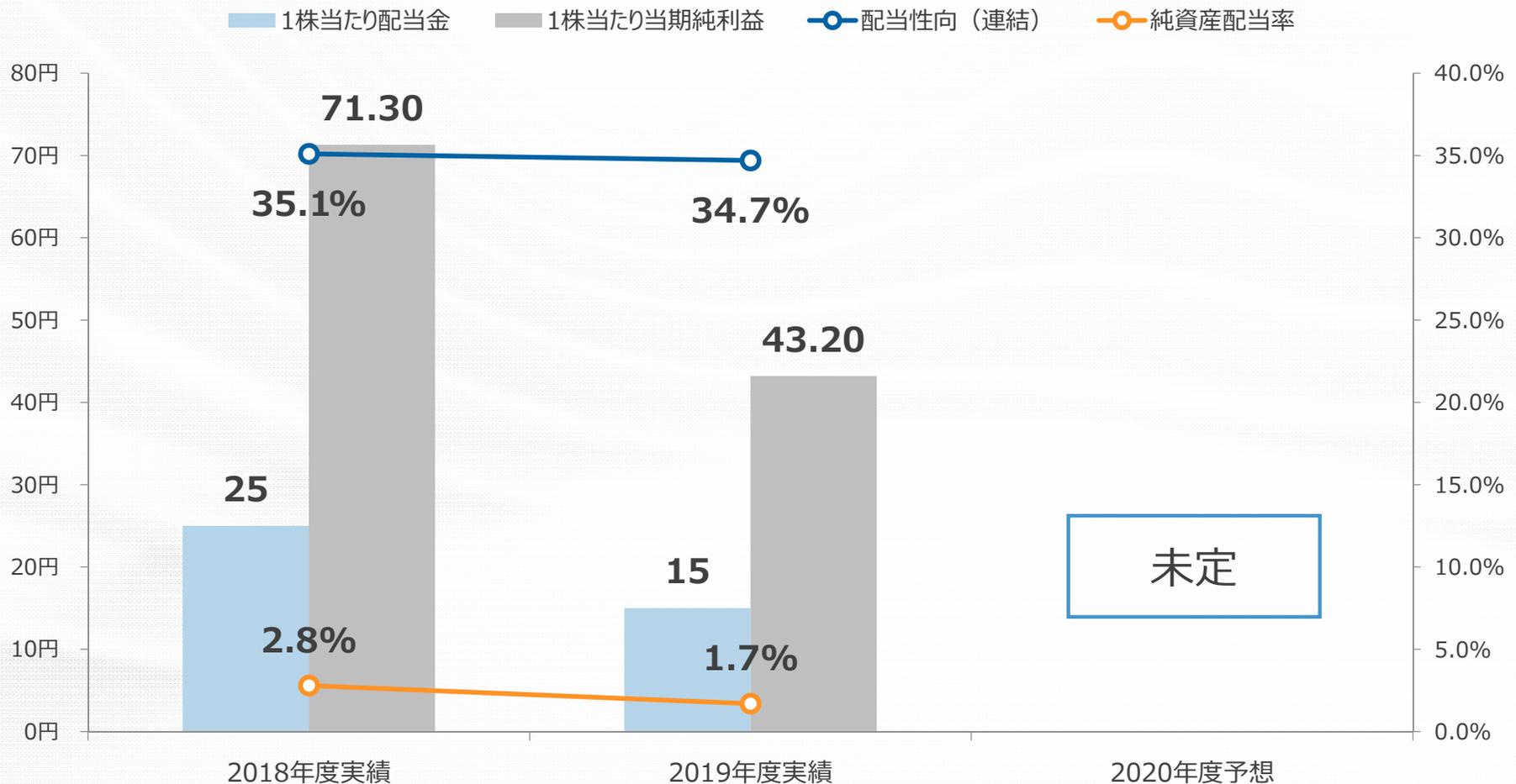
40億円



株主還元について

2019年度は、1株につき年間15円の配当を実施
2020年度は、最終利益がマイナスとなる見通しのため、中間は無配、期末は未定とします

1株当たりの配当金・当期純利益、配当性向、純資産配当率



SDGsへの貢献

SDGsへの貢献

SDGsへの貢献に向けた活動を推進

ダイカストマシンの電動化

- 駆動オイルの使用削減
- クリーン対応
- 省エネ・環境対応



高効率射出成形機の開発

- 製品不良の削減
- 樹脂製品の薄肉化
- 自動車EV化の普及貢献



ガバナンス体制の強化推進

- コンプライアンス・リスク管理の充実
- 内部統制の徹底



経営基盤の強靱化

- 労働生産性の向上
- 活気ある働きやすい職場作り
- ステークホルダーとの良好な関係を継続



Appendix

貸借対照表 (B/S)

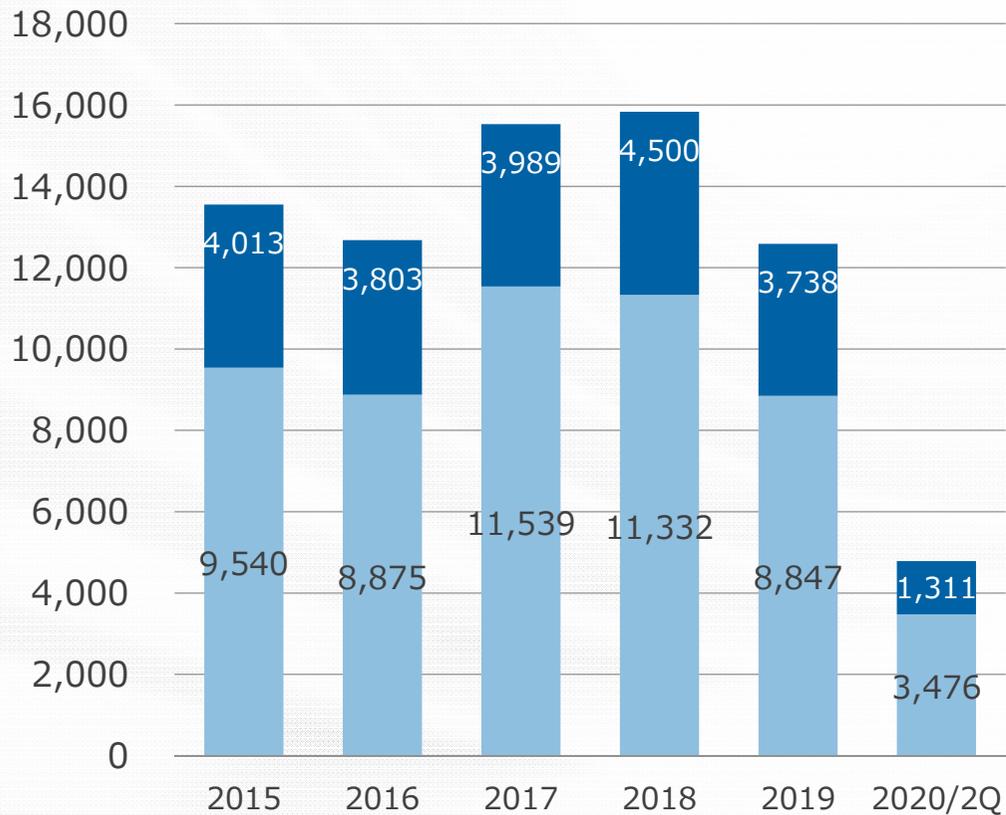
資産の部 (単位:百万円)	2019年度 実績	2020/2Q 実績	増減	コメント
流動資産	19,061	19,237	+176	受取手形及び売掛金は23億円減少したものの、現金及び預金が27億円増加したこと等により、流動資産は1億円増加。
現金及び預金	5,054	7,811	+2,757	
受取手形及び売掛金	7,469	5,106	△2,363	
棚卸資産	5,641	5,508	△133	
固定資産	9,067	9,449	+382	射出成形機大型組立工場、大型マシニングセンター取得による有形固定資産の増加により、固定資産は3億円増加。
有形固定資産	6,825	7,166	+341	
無形固定資産	644	648	+4	
投資その他資産	1,597	1,634	+37	
資産合計	28,128	28,686	+558	

負債・純資産の部 (単位:百万円)	2019年度 実績	2020/2Q 実績	増減	コメント
負債合計	9,742	10,914	+1,172	買掛金等の仕入債務は6億円減少し、借入金の有利子負債が16億円増加したこと等により、負債合計は11億円増加。
支払手形及び買掛金	3,993	3,367	△626	
有利子負債残高	1,200	2,860	+1,660	
純資産合計	18,386	17,771	△615	親会社株主に帰属する四半期純損失の利益剰余金の減少により、6億円減少。自己資本比率は前期64.3%から61.0%。
負債純資産合計	28,128	28,686	+558	

事業環境の概要

業界の射出成形機とダイカストマシンの出荷台数

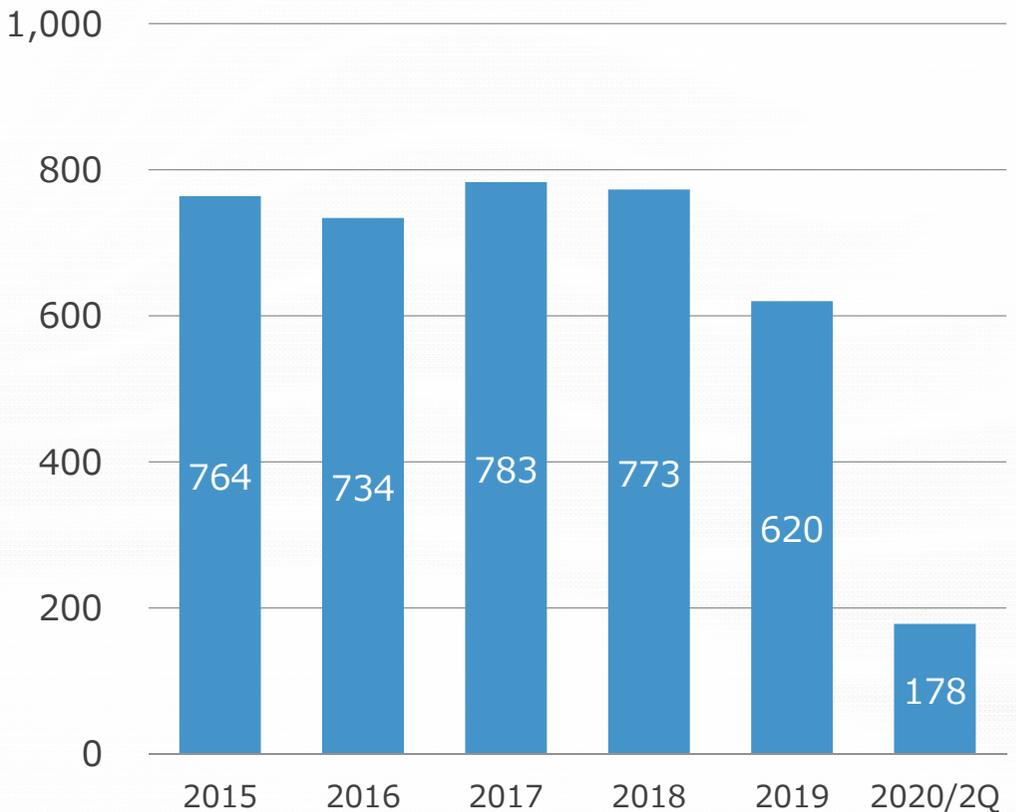
射出成形機出荷台数



■ 射出成形機 200t未満
■ 射出成形機 200t以上

出典：日本産業機械工業会

ダイカストマシン出荷台数



■ ダイカストマシン

出典：日本ダイカストマシン工業会

本資料に記載している将来の見通しに関する記載は、当社が現時点で把握可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後のさまざまな要因の変化によって見通しと大きく異なる場合があります。

TOYO

Customer's Value Up

連絡先 東洋機械金属株式会社 経営企画室
TEL. (078) 942-2345 (代表)
FAX. (078) 943-7275
URL. <http://www.toyo-mm.co.jp>